

愛隣館研修センターニュース

第48号

〒 612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151 TEL 075-621-3849 FAX 075-621-1579

E-mail :Dayservicecenter.Airin@ma2.seikyoe.ne.jp 振替 01020-5-39321

編集発行人：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター

発足!

「マスコミの精神障害者差別を考える会」

6月1日に障がい者に関わる人たちを中心に「マスコミの精神障害者差別を考える会」を発足。
発足までの経過と活動の内容をお知らせします。

抗議・質問状を送付

去る4月24日放映のテレビ朝日「ワイドスクランブル」において、精神科医町沢静夫氏が、静岡県や千葉県で起きた少女刺殺事件を取り上げ、容疑者を「ボーダーライン」「境界性人格障害」と断定し、「根気がないから無職が多い」「狂気の仮面をかぶった正気のいい人」などと発言した。精神障がい者の共同作業所（ほっとハウス）所長やめぐみホーム所長、京都・滋賀精神医療人権センターなどが精神障がい者に対する差別を助長したとして抗議・質問状を送付しました。

テレビ朝日の回答

それに対してテレビ朝日の回答は、「ボーダーライン・境界性人格障害は精神障害ではなく差別を助長したとは考えていない」「犯罪防止のきっかけを見いだすことが番組の企画意図」などと、精神医療一般の常識から逸脱し、精神障がい者（ボーダーライン・境界性人格障害者）を危険視するような発言を何ら反省なしに繰り返しています。

「マスコミの精神障害者差別を考える会」結成

そこで、今後ともテレビ朝日に対して抗議の声をあげていくこと。また、様々な事件が起きるたびに、「専門家」と言われる精神科医が登場し、直接の診察もしていないのに「分析」「診断」を下し、犯罪と精神疾患とを安易に結びつけるマスコミの風潮に抗い続けるために、障がい者と関わる有志が集まり、「マスコミの精神障害者差別を考える会」が結成されました。

マスコミが精神科医や犯罪心理学の「専門家」「権威」といわれる人間を登場させ、あたかも精神障がい者が危険な人物であるかのごとく、「分析」「診断」を繰り返し、精神障がい者やその家族を深く傷つけ続けることに対して、同会では継続的に取り組みを続けていこうとしています。

これまでの主な活動は、

6月8日に共同記者会見を行い、テレビ朝日に対して再度の抗議と公開質問状を送付したこと、「マスコミの精神障がい者差別を考える会」を結成したことを発表しました。毎日・読売・朝日・共同通信・京都新聞のそれぞれ記者が取材に来てくださり、これまでのいきさつを報告させてもらった。

また、雑誌「週間金曜日」「噂の真相」でも同会の動きを紹介していただくように働きかけています。

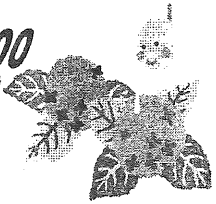
今後、一人でも多くの方にこの問題について考えていただき、マスコミによる精神障がい者差別を許さないうねりをつくりあげていきたいと願っております。

事務局:

京都市伏見区銀座360 めぐみホーム内
TEL 075-612-0364

初夏の
お出かけ
特集

ジャパンフローラ2000 淡路花博



—— 「絶好のお出かけ日和でしたな——！！前の日と次の日??」 ——

ということで、去る5月31日。西日本がどっぴりと気圧の谷にはまり込んだ最悪の日に、今年の日サービス・初夏のお出かけ会がにぎにぎしく開催されました。(利用者参加17名、スタッフ19名の総勢36名)行き先は、今年関西ではおそらくイチオシのイベント。「ジャパンフローラ2000・淡路花博」です。

小雨ぱらつく中、とりあえずセンターに午前9時に集合。「(「何とか大雨だけは勘弁してください。）」と、このときは淡い期待を抱いていたのです)いつものように、マイクロバスとワゴン車に分乗し、一路淡路島を目指します。高速道路を走り抜け、世界一の明石海峡大橋に差し掛かるくらいまでは、雨はパラパラと小康状態。先乗りしているワゴン車の所長Hから、マイクロバスの一行にピピピピと電話が。「こっちは雨やんでるぞ!!」との怪情報に、全員「ヤッター!!」の大合唱で、ヌカ喜び。が、それも束の間。マイクロバスが駐車場に滑り込み、降りる準備をしようかと同時に雨が本降りになってきたのでした。

まあまあ、とりあえず昼食を。食べている間に雨も何とかなるでしょう。と甘い考えを持ちつつ、ワールドレストランへ。が、しかし、これが一苦勞。雨が降ろうが槍が降ろうが、お構いなしの団体客ばかり。車イス主体の我々は身動き一つとるのも命がけでした。

昼食も食べ終え、いざ行動開始!しかし雨は無情にも降り続きます。でも、せっかくならんだから元は取らないと。雨の中、それぞれ自由行動で出かけていきました。

ヨーロッパの暮らしを紹介した3Dのフィルムを見て、それ専用のめがねをパクって来た(花博の人ごめんない)おっさん3人組。

緑と都市の館の前で、団体客が20~30分待ちで、降りしきる雨の中堪え忍んでいるのを横目に、2分で入れてもらい、悠々と見学してきたKくん。

岡けんた・ゆうた、大木こだま・ひびき、オール阪神・巨人の漫才を生で見て感動していた職員M。

それよりもなによりも、大半の参加者が、入り口から遙か遠くに離れた淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」に行っていたのが超オドロキでした(前述の職員Mは、漫才だけ見て、後は雨宿りをしていたらしい)。

大雨とごった返す団体客にうんざりといった感じのお出かけでしたが、各人それなりに満喫?出来たようで、とりあえずはメデタシメデタシ。
来年は雨が降らないことを願いつつ……
(雨のバカ、バカ、バカー!!)。



介護保険学習会

この4月より介護保険制度が実施され様々な情報が錯綜する中、障がい者の生活と介護保険との関係について去る5月17日(水)に学習会が行われました。

当初、京都市から講師の方をお招きしようとお願ひしたのですが、「一つ一つの施設を回って介護保険の説明をやるわけにはいかない。」とのつれない返事。それではと、自称「介護保険の達人」H氏に話しを聞くことになりました。

障がい者のうち、15種類の特定疾病による障がいをもつ人たちは、要介護認定申請を行うことになるが、それらの人たちが引き続いて障がい者デイサービスの利用を希望さ

される場合は、今までと変わりなくデイサービスの利用ができる、との話を聞き、「なんや、なんも変わらへんねんや!」と一同ホッと胸をなでおろしていました。

しかし、3年後にはすべての障がい者に介護保険が適用されるかもしれないとの話しになり、「今まで自分の生活は自分で選択してきたのに、他人にケアプランを作ってもらふことには抵抗があるわ」「これまでと同じようにヘルパーの派遣や、デイサービスの利用ができるんやるか」「利用料金の自己負担はいくらぐらいやるか」などと、将来を不安に感じる発言があいつぎ、自称「達人」も回答に四苦八苦していました。

今後、新しい情報が入り次第、利用者の方々へ随時お知らせすることを確認して会は終わりました。3年後どないなるんでしょうねえ!



これまで

4・5・6月のセンターの行事報告

- 4/12 お花見 参加者 41名
於：淀競馬場緑の広場
絶好のお花見日より。近場ということで、ゆっくり出発のんびり昼食。思いっきり体を動かしました。
- 4/21 デイサービス連絡協議会
於：みぶ身障会館
新年度会長にデイケア「コスモス」の坂口扶仁子さんが選ばれた。社会福祉基礎構造改革がすすめられている中、京都市との話し合いを充実させることを今年度の課題として確認した。
- 5/18 バリアフリーネットワーク
於：めぐみホーム
「共同作業所って何だろう!？」のテーマで銅銀正美さんより発題を受ける。その後、テレビ朝日の精神障がい者差別の問題で一同ヒートアップ、一触即発の危機!?
- 5/31 初夏のお出かけ 参加者 36名
於：淡路花博
詳細は前ページ

これから

7・8・9月のセンターの行事報告

- 7/9 SIEA開校式
アジア国際夏期学校、今年の研修生はインドとフィリピンに旅立ちます。アジアに興味のある方、とりあえず連絡してみて!
- 7/14 デイサービス連絡協議会
京都市障害福祉課との話し合い
- 7/18,19 バーベキュー
3F 特設会場にてビール!ビール!ビール!
- 7/24-8/31 『遊隣』夏休み特別体制突入
果たして何名のスタッフが生き残れるのか?
- 8/21-25 デイサービスセンター夏期休館日
ほんとに休んでいいんですか?
- 9/2-10 インドで福祉を考えるツアー参加
カースト制度の中で差別され続けているダリット。その中でも障がいを持つ人たちは、社会の中から疎外されています。チェンナイでダリットの障がい児・者の施設で研修します。

